諫早総合病院地域医療支援病院運営委員会・地域協議会

平成３０年度第４回会議議事録

日　時：平成３１年２月２１日（木）１４:００～
会　場：諫早総合病院　６階大会議室
書　記：総務企画課　髙橋　征史

○参加者　　別添資料のとおり（院外６名・院内４名・事務局３名）

≪議　事≫

［１］ 紹介率・逆紹介率について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１－１１頁

平成３０年１０月～１２月統計の報告
紹介患者数は大きな増減なし。
診療科別紹介患者の割合は消化器内科、皮膚科、歯科口腔外科が増加傾向にある
逆紹介率は、１０月 128.6%、１１月 131.5%、１２月 143.6%

（長郷院長）
紹介に関して皮膚科が増加している。トップが交代してから伸びてきている。将来的には医師の増員も考えている。逆紹介が増加したことで、開業医の先生方へ返すことになるので、大変になるかと思うが、よろしくお願いしたい。

（諫早医師会　山口様）
逆紹介率が今までと比較して考えられないくらい増加している。

（諫早消防署　西様）
患者搬送もなるべく開業医から先にあたるようにしている。

（長郷院長）
外傷系の患者が当院以外へ搬送、受入して頂いているので助かっている。当院の整形外科は医師の手術件数が他院と比較して多すぎる状態が続いている。患者の搬送について考慮して頂くのは大変助かる。

［２］救急患者・外来患者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２－１５頁

救急外来患者数：１０月５１６人、１１月５１０人、１２月６１１人
救急入院患者数：１０月３８８人、１１月３５７人、１２月３６０人
月別でみると横ばい状態。入院となる救急搬送患者が４割を超えている。

（長郷院長）
重症の患者、高齢者の患者が増加しているのも要因と考えられる。ICU８床がクッション機能を果たしている。歩けない患者を自宅へ帰すことはできない、軽症者の搬送が減少している。

（諫早市民　馬場様）
高齢で自宅へ帰れない患者には、患者本人、家族の事情などあるので、一旦受入れをしてもらうのは大変ありがたい。

［３］共同利用（開放型病床利用等）について・・・・・・・・・・・・・・・１６頁
共同利用を行った医療機関の延数６、そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延数６で共同利用率１００％。対象病床数３，８５０床、利用病床数４３床、共同利用率１．１％となっている。
放射線機器の利用率について、ＣＴの利用率は１０月８．９％、１１月９．８％、１２月８．４％。ＭＲＩの利用率は１０月１９．６％、１１月１９．５％、１２月２２．５％となっている。
（長郷院長）
増設した第２ＭＲＩ（３テスラ）が稼働し、余裕ができたので先生方の依頼にお答えてきるようになってきた。
（諫早医師会　山口様）
早く対応してもらえるようになり、助かっている。

［４］諫早市こども準夜診療センターについて・・・・・・・・・・・・１７－１８頁
患者数１０月２５６人（８．２６人／日）１１月２５８人（８．６０人／日）、１２月３４１人（１１．００／日）
地区別受診者数は大きな変化はない。
（長郷院長）
インフルエンザの流行時は大変だが、開業医の当番の先生も大変だと思う。小児の入院も増加している。

［５］患者相談実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９－２０頁
患者相談実績では、１０月１，２１３件、１１月１，２５４件、１２月１，１８７件となっている。
（長郷院長）
認知症に対する相談は増えている。相談に乗れる体制をとることが重要。困った時に電話で相談してもらえるように表示をしている。高齢化も進んでおり、増員が必要と考えている。認知症のコールセンターの設置も検討する必要がある。

［６］研修会開催状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１頁

研修会開催状況は、医師等の症例検討会を８部門、医師以外の研修会等を５部門で実施した。

（長郷院長）

長崎大学の教授を招いて講演会を開催した。新しい情報をもたらしてくれる。

（元諫早市教育長　平野様）

諫早総合病院の医療の守備範囲というか、どのような診療までが可能なのか市民にもわかるような講演会があればと思う。

［７］その他

ゴールデンウイークの診療体制について

（長郷院長）

４月２９日（月）、５月３日（金）の輪番日は各診療科の医師をおいて、開業医からの診療依頼は断らない体制をとり、専門医が診療を行う。

歯科口腔外科も同様の体制を取る。

救急隊も対応して頂きたい。

（諫早医師会　山口様）

医師会も当番医で対応予定。外科は１医院、内科は１病院２医院で対応。小児は２医院体制で対応。産婦人科もゴールデンウイークだけは当番医がある。まだ決定はしていないので今月中に当番表を配布できると思う。

（長郷院長）

日赤長崎諫早病院は、通常通りの診療を行う日があるとのこと。

（諫早医師会　山口様）

自主的に診療を行う開業医もいらっしゃる。

５階　災害収容棟

（元諫早市教育長　平野様）

災害収容棟とは何に使用するのか。

（長郷院長）

災害対策本部として使用する。患者を一時的に収容することもある。

（元諫早市教育長　平野様）

最近災害は頻発しているが、派遣などはあるのか

（事務局）

熊本地震の際は、ＤＭＡＴが益城町に、救護班が菊池市にて活動した。その後はない。

（福田看護部長）

災害支援ナースに３名登録されている看護師がいる。派遣要請があれば出動する。